

## 第22回全国青年・女性漁業者交流大会



発表を行う南谷彰人氏

3月1日から2日にかけて、東京都内のホテルにおいて第22回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました。

この大会は、全国の青年・女性漁業者が日頃の研究や実践活動を発表し、知識の交換と活動意欲の向上を図り、浜の活性化に寄与することを目的に毎年開催されているものです。

本年度は、青森県代表として尻屋漁業研究会（濱端元一会長）の南谷彰人氏が、第1分科会「資源管理・資源増殖部門」にて「半世紀にわたる漁場造成の歩み―これからも尻屋の海とともに―」と題して発表しました。

尻屋漁業研究会は、コンブ資源増大のために取り組んできた事業について発表し、研究会が設立された昭和38年から一貫して、「海藻が繁茂し、磯根資源の豊かな漁場づくり」を目指して、多くの活動に取り組んできたことを紹介しました。審査員からは、長年の活動の成果は磯焼け対策の実践事例として高く評価できるといったコメントをいただきました。

審査の結果、残念ながら農林水産大臣賞の受賞はなりませんでしたが、県の水産総合研究所などと連携し、半世紀にわたるコンブやウニ、アワビ等の磯根資源を守り育ててきた取組が評価され、全5分科会で1団体のみに贈られる全国水産試験場長会会長賞を受賞しました。おめでとうございます。



後日、越善靖夫村長に受賞を報告

## 歩くスキーと東通の食を楽しむ～第3回東通村歩くスキーのつどい～



白熱のレースが繰り上げられました

2月18日、ひとみの里周辺で「第3回東通村歩くスキーの集い」が開催されました。

小学生の部では、40名の小学生が参加し、低学年・中学年・高学年に分かれて速さを競い、全員が無事にゴールにたどり着きました。上位入賞者にはメダルと東通牛などの豪華賞品が授与され、その後、温かい豚汁が振る舞われました。

一般の部では、村民を中心に約27名が参加。ひとみの里の公園から桑原までを歩きました。スキーの終了後にはひとみの里公園で焼肉広場が開設され、温まりながら東通の食を楽しんでいました。

## 8組のカップルが誕生！～「恋する♡スイーツパーティ」実施報告～



司会の千代谷さん



大好評のスイーツ

東通村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略に係る人口対策の一環として、主に村内在住の独身者に出会いの場を創出するため、3月4日、婚活イベント「恋する♡スイーツパーティ」をむつグランドホテルで開催しました。

パーティは、越善靖夫村長より恋愛のポイントやアドバイスをいただきスタート。

参加した男女計39名は、恋活・婚活アドバイザー千代谷直美さんの進行で、お見合いレポートなどのほか、東通村の地場産品を使用した料理やスイーツを味わい、親睦を深めました。

その結果、8組のカップルが誕生しました。近い将来、嬉しい報告が聞こえてくることを期待しています。